

日本放射線技術学会 会員の皆様

放医研は、NIRS / WHO コラボレーションセンターシンポジウムを、下記の通り開催致します。
ご関心のある会員の皆様方には、是非ご参加いただきたく、ご案内申しあげます。
なお、貴会にご後援をいただいておりますことを申し添えます。
よろしくお願ひ申し上げます。

記

名 称：NIRS/WHO コラボレーションセンターシンポジウム
「子どもの放射線被ばくを考える」

日 時：2014年12月8日（月）9:40-17:15
2014年12月9日（火）9:00-17:15

主 催：放射線医学総合研究所

後 援：日本医学放射線学会 / 日本放射線腫瘍学会 / 日本放射線技術学会
日本医学物理学会 / 日本小児放射線学会 / 日本保健物理学会 / 日本放射線影響学会
日本核医学技術学会 / 日本核医学会 / 日本診療放射線技師会（予定も含む）

協 賛：IAEA/WHO

場 所：国際研究交流会館（東京：築地）
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 国立がんセンター内
<http://www.ncc.go.jp/jp/access.html>

参加費：無料

連絡先：参加希望の方は下記までご連絡ください。
放射線医学総合研究所
防護センター運営企画ユニット
〒263-8555 千葉市稻毛区穴川4-9-1
TEL: 043-206-6291
E-mail: Kids2014@nirs.go.jp

プログラム案（概要：敬称略）

12月8日（月曜日）

基調講演

ローレンス・ラオ（IRQN, ISR）

セッション1：医療被ばくの線量評価

　　ウィズリー・ブラック（フロリダ大学）

　　鈴木昇一（藤田保健衛生大学）

セッション2：医療被ばくに関する疫学研究とリスク評価

　　ジョン・マシューズ（メルボルン大学）

ケビン・ウラヤマ（東京医科歯科大学）

ロイ・ショア（放影研）

基調講演

医療被ばくの国際動向

マリア・ペレス（WHO）

セッション3：医療放射線利用の最適化

マダン・レハーニ（ハーバード、MGH）

フレッド・シャノウン（国連科学委員会）

12月9日(火曜日)

基調講演

中釜斉（国立がん研究センター）

セッション4：放射線発がんのメカニズム

柿沼志津子（放医研）

今岡達彦（放医研）

レオ・ゲーベック（MGH）

基調講演

ケナン・オネル（シカゴ大学）

セッション5：がん予防

尚奕（放医研）

小泉昭夫（京都大学）

森岡孝満（放医研）

セッション6：リスク・ベネフィットコミュニケーション

マイケル・ボイド（米国EPA）

ローレンス・ダウラー（メモリアル・スローン・ケタリングがんセンター）

宮崎治（国立成育医療研究センター）

神田玲子（放医研）

アンジェラ・シェーグレン（米国EPA）

総括

島田義也（放医研）